

セクターゲル3%

【この薬は？】

販売名	セクターゲル3% SECTOR GEL 3%
一般名	ケトプロフェン Ketoprofen
含有量（1g中）	30mg

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」<http://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、経皮鎮痛消炎剤と呼ばれるグループに属する塗り薬です。
- ・この薬は、炎症にかかわるプロスタグランジンという物質の産生を抑えることで、鎮痛、消炎作用をあらわすと考えられています。
- ・次の目的で処方されます。
下記疾患並びに症状の鎮痛・消炎
変形性関節症、肩関節周囲炎、腱・腱鞘炎、腱周囲炎、上腕骨上顆炎（テニス肘等）、筋肉痛、外傷後の腫脹・疼痛
- ・この薬は、体調がよくなったと自己判断して使用を中止したり量を加減したりすると病気が悪化することがあります。指示どおりに使用することが重要です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

○次の人は、この薬を使用することはできません。

- ・過去にセクターゲル3%に含まれる成分で、過敏な反応を経験したことがある人
- ・アスピリン喘息の人、または過去にアスピリン喘息になったことがある人
- ・過去にチアプロフェン酸、スプロフェンおよびフェノフィブラートで過敏な反応を経験したことがある人
- ・過去にオキシベンゾンやオクトクリレンを含む製品（サンスクリーンや香水など）で過敏な反応を経験したことがある人
- ・過去に光線過敏症（日光の当たる部分に発疹や水ぶくれができる、日光の照射による過度の日焼け、かゆみ）になったことがある人
- ・妊娠後期（妊娠28週以降）の人

○次の人は、慎重に使う必要があります。使い始める前に医師または薬剤師に告げてください。

- ・気管支喘息の人
- ・高齢の人

【この薬の使い方は？】

●使用量および回数

使用量は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。
通常、成人の使用回数は、1日数回です。

●どのように使用するか？

患部に塗ってください。なお、使用後はよく手を洗ってください。

●使用し忘れた場合の対応

塗り忘れに気付いた時点ですぐに塗ってください。

●多く使用した時（過量使用時）の対応

異常を感じたら医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・過去にセクターゲル3%に含まれる成分で、過敏な反応（紅斑、発疹・発赤など）を経験したことがある人は使用できません。
- ・接触皮膚炎（皮膚のかゆみ、かぶれ、発疹）があらわれることがあるので、発疹・発赤、かゆみ、刺激感などの皮膚症状があらわれた場合は、ただちに使用を中止し、医師または薬剤師に相談してください。
- ・光線過敏症があらわれることがあるので、使用中は天候にかかわらず、戸外の活動を避けるとともに、日常の外出時も、セクターゲル3%を塗っている部分を色物の服やサポーターで覆い、光に当たらないよう注意してください。なお、使用後も当分の間は、同様に注意してください。異常を感じた場合は、ただちに使用を中止し、患部を光に当てないようにして、医師または薬剤師に相談し

てください。

- ・この薬による治療は病気の原因に対して行われるものではなく、症状を軽減するために行われるものです。
- ・目や粘膜、きずのある部分には使用しないでください。
- ・妊娠後期（妊娠 28 週以降）の人は使用できません。
- ・妊婦（妊娠後期以外）または妊娠している可能性がある人は医師に相談してください。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、この薬を使用していることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意ください重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、直ちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
ショック	めまい、冷や汗、意識がうすれる、考えがまとまらない、血の気が引く、息切れ、判断力の低下
アナフィラキシー	しゃがれ声、眼と口唇のまわりのはれ、じんましん、判断力の低下、動悸、息切れ、息苦しい、からだがだるい、考えがまとまらない、ほてり、意識の低下、ふらつき
喘息発作の誘発 (アスピリン喘息) ぜんそくほっさのゆうはつ (アスピリンぜんそく)	息切れ、息苦しい、息をするときヒューヒューと音がする
接触皮膚炎 せっしょくひふえん	皮膚のかゆみ、かぶれ、発疹
光線過敏症 こうせんかびんしょう	日光の当たる部分に発疹やみずぶくれができる、日光の照射による過度の日焼け、皮膚の色素沈着、かゆみ

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	冷や汗、からだがだるい、ふらつき
頭部	めまい、考えがまとまらない、意識の低下、意識がうすれる
顔面	ほてり、血の気が引く
眼	眼と口唇のまわりのはれ
口や喉	しゃがれ声、眼と口唇のまわりのはれ、息をするときヒューヒューと音がする
胸部	動悸、息切れ、息苦しい
皮膚	じんましん、皮膚のかゆみ、かぶれ、発疹、日光の当

部位	自覚症状
	たる部分に発疹やみずぶくれができる、日光の照射による過度の日焼け、皮膚の色素沈着、かゆみ
その他	判断力の低下

【この薬の形は？】

外観	無色～微黄色透明なゼリー状の軟膏
におい	特異なにおいがある
識別コード	HP211G

【この薬に含まれているのは？】

有効成分	ケトプロフェン
添加物	アジピン酸ジイソプロピル、エタノール、オキシベンゾン、カルボキシビニルポリマー、ジイソプロパノールアミン、ジブチルヒドロキシトルエン、フェニルエチルアルコール、プロピレングリコール、その他1成分

【その他】

●この薬の保管方法は？

- ・直射日光と湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：久光製薬株式会社 (<http://www.hisamitsu.co.jp/>)

お客様相談室

電話：0120-133250

受付時間／9:00-17:50（土日・祝日・会社休日を除く）